

柱Ⅰ 神奈川からのエネルギー政策の転換

太陽光発電などの導入やエネルギー関連産業の集積などを促進し、地域において将来にわたり安全・安心なエネルギーを安定的に確保する神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- 🌿 エネルギーの地産地消の新しいモデルを“生む”
- 🌿 子どもたちのエネルギーを大切に作る心を“育む”
- 🌿 電力供給不足や災害から県民の暮らしを“守る”
- 🌿 エネルギー関連産業を集積し、新しい技術や雇用を“創る”
- 🌿 持続可能なエネルギーを次世代に“継ぐ”



県総合防災センター屋上の太陽光パネル

プロジェクト

1 かながわスマートエネルギー構想の推進

- 1 太陽光発電など再生可能エネルギー等の導入促進
- 2 省エネによる電力需要の縮減
- 3 EVの活用など蓄エネによる電力需要の平準化
- 4 エコタウンの整備推進

分散型エネルギー体系の構築

2 エネルギー関連産業の集積促進

- 1 エネルギー関連企業の誘致
- 2 エネルギー関連産業への参入促進
- 3 エネルギー関連ベンチャーの事業化促進

エネルギー政策転換を生かした県内産業活性化



かながわスマートエネルギー構想の推進

将来にわたり安全・安心なエネルギーを安定的に確保するため、地域において効率的なエネルギー需給を実現する、かながわスマートエネルギー構想を提唱しています。

- 三つの原則
- 原子力発電に過度に依存しない
 - 環境に配慮する
 - 地産地消を推進する

